1) **つくしありどほしらん** (*Myrmechis tsukusiana* MASAMUNE)

正宗氏ガ 1929 年、屋久島品ヲ タイプ トシテ記載シタ珍種デアルガ、屋久島以外ノ産地ハ未ダ知ラレテキナカツタ。筆者ハ 9 月 23 日、霧島溫泉カラ大浪池ニ至ル間ノ針濶混交林内 (高サ約 900 m) ノ小區域ニ、花期ハ既ニ過ギテキタガ本種ラシイモノガアルコトヲ見出シタ。入念ニ探シテ漸ク果實ヲ有スルモノ 2 株ヲ得タ。其一部ヲ一昨年ノ春、東大ノ木村陽二郎氏來訪ノ際托シ同定ヲ御願ヒシタ。花時ノモノガ欲シカツタノデ、更ニ昨年 8 月 28 日再ビ同地ヲ訪レタガ既ニ少シク花期ヲ逸シテキタ。コノ際モ長時間探査シテ漸ク 2 株ヲ得タノミデアツタ (營養體ノミノモノハ 10 數株アツタ)。生育地ノ狀態ヲ簡單ニ記セバ、つが、あかまつ、みづなら、さかき、ゆづりは、やまつばき、ねぢき等ヲ主要素トスル針濶混交樹林帶デ、樹蔭ニはひのき、みやましきみ等ガアリ、林床植物トシテつるありどほし、みやまうづら 等ガアル。而シテ將來間伐サレルヤウナコトガアレバ絶滅ノ恐レガアル。*Myrmechis* 屬ノ植物ハ九州本土ニハ初發見デアル。

2) **くろごけ** (*Andreaea Fauriei* BESCH)

最近堀川氏ニヨツテ、九州デハ北九州ノ由布岳ヤ屋久島ニ産スルコトノ報告ガアツタガ、霧島山大浪池畔ノ火山岩上ニ、本種ラシイモノガ多數生育シテキルコトハ 筆者ハ以前ヨリ知ツテキタ。昨年 8 月ニモ造胞體ヲツケタ材料ヲ多數得テ、檢鏡ノ結果本種デアルコトヲ確認シタ。霧島山ニ新シイト同時ニ南九州本土デモ初發見デアル。

3) **こほろぎらん** (*Stigmatodactylus sikokianus* MAXIM.)

南九州デハ肥後國矢岳、大隅國高隈山ニ産スルコトハ既知ノ事實デアルガ、先年鹿兒島縣師範學校教諭川村純二氏ガ若干ノ標本ヲ持參サレ、同定ヲ依賴サレタモノヽ中ニ霧島山栗野岳産ノ本種ガアツタ。即チ 1937 年 10 月、同氏ガ栗野岳六合目邊ノ杉林中デ採ツタモノデアル。

以上ヲ記スニ當リ、つくしありどほしらんノ タイプ ト比較同定下サツタ東大ノ木村陽二郎氏並ニこほろぎらんヲ贈ラレタ川村純二氏ニ對シ厚ク謝意ヲ表シマス。

○ひしもどき (原 寛)

水草研究ノ權威トシテ知ラレタ Hugo GLÜCK ハ昨年 9 月 28 日死去シタガ、彼ノ最後ノ論文ハ ENGLER, Bot. Jahrb. LXXI–3, pp. 267–336, 2 tab. (Dec. 1940) ニ揭載サレ、再ビひしもどき屬 (*Trapella*) 植物ニ關スル精細ナル觀察ガ發表サレタ。彼ハ日本・支那カラ取寄セタ生品ヤ多數ノ標本ヲ研究シタ結果コレヲ *T. sinensis* 及ビ *T. antennifera* ノ 2 種ニ分類シ、同論文 330 頁デソノ區別點トシテ次ノ 5 項目ヲ擧ゲテキル。 1) *T. antennifera* ノ方ガ果實ガ大デ果梗ヲ含メ長サ (28) 40–50 mm、*T. sinensis* デハ長サ 26–32 (40) mm。 2) *T. antennifera* ノ果實ハ 5 本ノ鞭狀突起ガアルガ、*T. sinensis* デハ 3 本アルノミ。 3) *T. antennifera* ノ果實ハ通常 3 條ノヨク發達シタ翼ガアリ、稀ニ無翼、*T. sinensis* デハ無翼カ又ハ退化シタ翼ガアル。 4) *T. antennifera* ノ種子ハ殆ド常ニ少シク彎曲シ、大デ長サ 13–15.5 mm 幅 1.4–1.8 mm、*T. sinensis* デハ殆ド眞直デ、長サ

8.3–11 (13) mm 幅 1–1.6 (1.8) mm。5) *T. antennifera* ハ日本・滿洲ニ分布シ、支那カラハ未ダ知ラレテ居ナイガ、*T. sinensis* ハ主ニ支那ニ産シ日本デハ稀デアル。以上ノ内 2) ノ特徴ヲ最モ重視シ、288 頁ニ彼ハ 1929 年以來 *T. antennifera* ヲ栽培シテキルガ、コノ性質ハ安定シテキテ、コレヲ分類上ノ最モ重要ナ特徴ト考ヘルト述ベテキル。3) ノ果實ニ於ケル翼ノ有無ハ、GLÜCK 自身 315 頁デ、同一個體デモ變化シ、又發達ノ悪イ翼ヲ有スル形モアリ分類上重視スル事ハデキナイト云ツテキル。私ノ觀察シタトコロデハ、果實ノ鞭狀突起ノ數ハ GLÜCK ガ栽培シタ個體デハ安定シテキタノデアラウガ、コレモ翼ノ有無ト同様ニ變化シ易イモノデアル。私ノ見タ下總眞間産ノ標本デハ同一個體デモ莖上部ノ果實ハ鞭狀ノ 3 刺ト短イ 2 刺ヲ有シ明カニ *T. sinensis* 型デアルガ、莖ノ下部ノモノハ鞭狀ニノビタ 4 本ノ刺ト長サ 1 cm 許ノ短刺ヲ有シ *T. antennifera* ニ近ヅイテキタ。植物學雜誌 2 巻 11 圖モ、カカル中間形ノ果實ヲ圖解シテキル。又眞間ニモ明カニ 5 本ノ鞭狀突起ノアル果實ヲ有スルモノヲ産スル。果實・種子ノ大サ等モ支那産ト日本産トノ間ニハツキリシタ區別ヲ認メル事ハ難シイ。東大ニアル *T. antennifera* 型ノ標本デハ果體ノ長サ 12–15 mm デ、GLÜCK ノ記載 16–20 mm ヨリ小形デ *T. sinensis* ノ 10–16 mm ノ方ニ一致スル。更ニ分布ニ關シテモ補足スベキ點ガ多イ。GLÜCK ハ fig. 31 ノ分布圖デ本州ニハ *T. antennifera* ノミヲ産スル如ク書イテアルガ、301, 329 頁デハ下總眞間及ビ東京ニモ *T. sinensis* ガアル事ヲ確認シテキル。又朝鮮ニハ本屬植物ハナイト 298 頁ニ書イテアルガ、朝鮮植物名彙 319 頁 (1922) ニ既ニ載ツテ居ル通リ、東大ニハ清凉里及ビ新安州産ノ標本ガアル。清凉里ノモノノ果實ハ 5 本ノ長イ鞭狀突起トヨク發達シタ翼ヲ有シ *T. antennifera* 型デアリ、新安州ノハ翼ハヨク發達シテキルガ鞭狀突起ハ 3 本ノミデ *T. sinensis* 型デアル。一方支那ニモ *T. antennifera* 型ガアル。Gray Herbarium ニアル山東省 'Near seashore Tai-Ching-Kong (F. N. MEYER, no. 330, Aug. 1907)' ノ標本ガコレデ長イ 5 本ノ鞭狀突起ヲ有シ、突起ハ最短ノモノデ長サ 3 cm ニ達シ、果體ハ無翼、長サ 14 mm アル。東大ノ *T. antennifera* ノ標本ハ殆ド果實無翼デ、僅カニ翼ヲ認メ得ルモノガ少數アリ、反ツテ支那蘇州産ノモノデハ GLÜCK, Tab. I, fig. 5, 6 以上ニ翼ガヨク發達シテキル。*T. sinensis* ノ基準標本 Hupeh (HENRY no. 1671) ノ如ク 3 本ノ鞭狀突起ノアル無翼ナ果實 (果體長サ 12 mm 許) ヲ有スル形ト、5 本ノ鞭狀突起ト明カナ翼ノアル大形ノ果實ヲ有スル形トヲ比較スレバ可成リノ差異ガアルガ、上記ノ如ク GLÜCK ノ最モ重視シタ果實ノ鞭狀突起ノ數モ餘リ安定シタ特徴デハナク、分布モ亦判然トシナイ事ガ明カニナツタノデ、コレヲ別種ト認メル事ハ無理デアル。尙 *Trapella antennifera* (LÉV.) ノ名ハ既ニ GAMS in Pfl.-areale I–3, p. 40 (1927) ノ *Trapa* ニ關スル記事中ニデテキルガ、著者名ヲ OLIVER トシテキルノデ或ハ *T. sinensis* OLIVER トスル積ノ誤カモシレナイ。又 GLÜCK ハ花冠ガ小形 (長サ 10–16 mm) デ整齊、花梗モ短カク、花筒ハ漏斗狀デ中央凹マナイ形ニ *T. sinensis* f. *infundibuliformis* ノ名ヲ與ヘ、コノ形ガ門司ニモ産スル事ヲ報ジテキル。

Trapella sinensis OLIVER in HOOKER, Icon. Pl. t. 1595 (1887)—F. W. OLIVER in

Ann. Bot. II, 79, t. V–IX (1888)—SOMEYA, IKENO et MAKINO in Bot. Mag. Tokyo II, 171, t. 11 (1888)—MAKINO, Ill. Fl. Jap. pl. 8 (1888) & pl. 64 (1891)—MATSUMURA, Ind. Pl. Jap. II–2, 575 (1912) pro parte—GLÜCK in ENGLER, Bot. Jahrb. LXXI–3, 299 & 332, t. II (1940).

Nom. Jap. *Sina-hisimodoki* (nom. nov.).

Dist. Honsyu, Kyusyu, Korea, China, Manshuria, Ussuri et Amur.

f. **infundibuliformis** GLÜCK, l. c. 322, t. II, fig. 22–26 (1940).

T. sinensis var. *infundibuliformis* GLÜCK in ENGLER, Bot. Jahrb. LXX, 151 (1939); l. c. 333 (1940).

Dist. Kyusyu et China.

var. **antennifera** (LÉV.) HARA, comb. nov.

Trapa antennifera LÉVEILLÉ in Bull. Acad. Intern. Geogr. Bot. VIII, 229 (1899) XII, t. 13 (1903).

T. antennifera (LÉV.) OLIVER ex H. GAMS in Pfl.-areale I–3, 40 (1927) in textu.

T. antennifera (LÉV.) GLÜCK, l. c. 149 (1939), l. c. 270 & 331, t. I (1940).

Nom. Jap. *Hisi-modoki.*

Dist. Honsyu, Korea, Ussuri et China. (H. HARA.)